

## 第4章 中世社会の成立 6.鎌倉文化 c、鎌倉仏教

### ①鎌倉仏教の特徴

・[1 祈祷]や[2 学問]中心から3 内面的な深まり 重視に  
→[4 武士]や、[5 農民]など庶民に門戸を開く

・厳しい修業を必要としない([6 易行])、ただ1つの救いの方法を選ぶ([7 選択])、  
えらんだ方法に打ち込む([8 専修])

### ②浄土教系 = 広範囲の身分や階層の支持を得る

1)[9 法然]…浄土宗を開く 主著 = [10 選択本願念仏集]

専修念仏 = 11 阿弥陀の誓いを信じ、南無阿弥陀仏と念仏を唱えれば平等に極楽浄土に往生できる  
という考え方。

2)[12 親鸞]…浄土真宗を開く 主著 = [13 教行信証] 言行録 = [14 歎異抄] 唯円著

[15 悪人正機]説 = 16 煩惱の深い人間(悪人)こそが阿弥陀仏の救いの対象である

→[17 絶対他力]を主張。武士や[18 農民]などにひろがる

3)[19 一遍]…時宗を開く→[20 踊念仏]により各地に布教。広い階層からの支持を得る

### ③[21 日蓮]…日蓮宗(法華宗)を開く。主著[22 立正安国論]→武士や商工業者にひろがる

[23 法華経]だけが正しい仏法とし信仰の対象とする

→題目[24 南無妙法蓮華経]と唱える事で救われると説く  
他の宗派をきびしく排撃、法難の発生を主張→幕府の迫害を受ける

### ④禅宗系…[25 坐禅]の自己鍛錬による救済を説く。[26 武士]の支持を受ける

1)栄西 宋に留学し[27 臨济]宗をつたえる 主著[28 興禅護国論](『喫茶養生記』も)

[ 戒律]を重視し、幕府の保護を受ける。、武士の支持を得る、[29 公案]をとく  
→[30 蘭溪道隆][31 無学祖元]ら宋の高僧の渡来 = 建長寺・円覚寺など開山

2)[32 道元]…曹洞宗を開く 主著[33 正法眼蔵] 本山[34 永平寺](福井県)

[35 只管打坐]を説く = 36 ひたすら坐禅をすること を主張

世俗的権力との結びつきを37 きらい、男女差別を否定→地方武士にひろがる

### ⑤旧仏教の動き→[38 戒律]の重視をとく

南都仏教の再興…貞慶(法相宗)、[39 明恵](華嚴宗)→高山寺建立

[40 真言密教]…密教と戒律を重視…叡尊、[41 忍性]  
社会事業で活躍…貧民救済、ハンセン病療養([42 北山十八間戸])

## d. 芸術の新傾向

①彫刻…[43 運慶]・湛慶父子・[44 快慶]ら、写実的で力強い仏像や[45 肖像]をつくる  
[46 東大寺金剛力士像]「[47 無着・世親]像」「重源上人像」など

特徴…[48 天平]時代の伝統を受け継ぎ、新しい時代の精神を生かした[49 力強い写実性]と  
[50 豊かな人間味]のあらわれ

### ②建築

大仏様 = [51 東大寺南大門]([52 重源]設計)

全体としての[53 構造]的な美しさに主眼を置き、[54 天平]な手法をとる

禅宗様(唐様) = [55 円覚寺舍利殿]

[56 細かい木材]を用いて、[57 整然とした精巧な]な美しさをあらわす。

折衷様 = 観心寺金堂

なぜ、鎌倉芸術は東大寺に多いのか→

### ③絵画 [58 絵巻物]の全盛

「[59 一遍上人絵伝]」…民衆に教えを広げる。当時の民衆の生活や風俗を生き生きと描く。

「[60 蒙古襲来絵巻]」…蒙古襲来時の肥後の御家人[61 竹崎季長]の活躍を描く(宣伝!)

肖像画 = [62 似絵]の流行(藤原隆信「源頼朝図」、信実)

[63 頂相](禅宗の僧が師の肖像を崇拜)

### ④工芸…武具の製作(甲冑の明珍、刀剣の長船・正宗など)

[64 瀬戸焼](尾張→[65 加藤景正]が中国の製法を伝える加藤景正)など陶器生産の発展